



20
n-a-ZE

NAZE NEXT VISION

～長岡のものづくりは新たな未来へ～

NPO法人長岡産業活性化協会 NAZE

n-a-ZE[®]

Nagaoka Activation Zone of Energy

<https://na-ze.jp/>

〒940-2127

新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICOテクノプラザ内

TEL : 0258-42-8700

FAX : 0258-42-8701

E-mail : info@na-ze.jp

※本書を無断で複製・転載することを禁じます。



NAZE 20周年記念誌
会員企業ガイド

NAZE NEXT VISION

INDEX

目次

【第1章】挨拶と祝辞

- 3 会長挨拶
- 4 祝辞

【第2章】これまでの20年

- 8 設立の背景と目的
- 10 20年の軌跡
- 18 各部会紹介
- 19 事業報告ダイジェスト2024
- 22 NAZEの紹介

【第3章】次の20年への想いとビジョン

- 24 20周年記念スペシャル対談
- 29 若手経営者の想い
- 30 20周年記念事業の記録

会員企業紹介

- 32 会員企業紹介／索引
- 33 設計・開発
- 鉄鋼・鋳造・ダイカスト
- 34 機械加工
- 36 板金・製缶
- 37 表面処理・熱処理
- 電子・電気機器
- 38 装置製造・組立
- 39 支援サービス
- 42 高等教育機関
- 43 インフォメーション

【第1章】挨拶と祝辞



挨拶

NPO法人 長岡産業活性化協会NAZE 会長 **大井 尚敏**
(株)オオイ 代表取締役

NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEは、本年、設立20周年という大きな節目を迎えることができました。当協会の会員企業、長岡市や長岡商工会議所をはじめ、地域の教育・研究機関など、ご支援、ご協力を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます。

当協会は、明治初期の東山油田開発から、幾多の時代の変化と要請に応えながら力強く発展を遂げてきた長岡地域のものづくり産業をさらに発展させるべく、産声を上げました。高等教育・研究機関と優れた要素技術が集積する地域の特性を最大限に活かし、「新世代のものづくり」を創造することをもって、地域振興に寄与することを設立の理念としております。

この20年の歩みにおける最大の原動力は、会員企業の皆様が自らエンジンとなり、主体的に事業を企画・運営してこられたことになります。設立当初40余りだった会員の輪は、今や100を超えるまでに広がり、力強く成長を遂げました。

近年、私たちは地域産業が直面する喫緊の課題である労働人口の減少に対し、未来を見据えた事業に特に注力しており、長岡版イノベーションの施策と密接に連携しながら、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)支援や、多様な人材の活躍推進に取り組んでおります。

特に、JICA草の根技術協力事業として実施しているモンゴル人材活用事業では、本年3月にモンゴル高専生を受け入れたインターンシップにおいて、卒業学年の7名全員がインターンシップ先企業への就職を希望するという、画期的な成果をあげることができました。これは、地域企業と海外の若者が素晴らしい出会いを果たした証であり、今後の国際的な人材交流の大きな可能性を示すものであります。

そして、この記念すべき20周年を飛躍の契機とすべく、新たに「AI活用促進事業」を始動いたします。日進月歩で進化するAI技術を地域のものづくりに積極的に取り入れ、生産性の向上と新たな付加価値の創出を加速させてまいります。

先の見えない激動の時代ではありますが、私たちは、幾多の困難を知恵と情熱で乗り越え、チャンスに変えてきた長岡の先人たちの精神を受け継いでおります。これからも、ものづくり産業のイノベーションを通じて未来を切り拓く「長岡ブランド」を全国、そして世界へと力強く発信し、次代を担う子どもたちが「長岡のものづくりに誇りを持てるまち」に築き上げていく所存です。

関係各位におかれましては、今後とも当協会の活動に変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

congratulatory

messages



祝辞

長岡市長 磯田 達伸

NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEの設立20周年を心からお祝い申し上げます。

貴協会は、平成17年4月の設立以来、会員企業の皆様の事業推進の活力となり、「長岡版イノベーションの推進」を活動の柱として、長岡地域のものづくり産業の活性化に多大な貢献をされてきました。そのご尽力に対し、深く敬意を表します。

貴協会がこれまで推進されてきた多岐にわたる活動は、長岡市経済の発展の大きな原動力となっております。産学官連携による新技術・新事業の創出、そして未来を担う人材の育成など、その一つひとつの取り組みが、今日の長岡の産業基盤をより強固なものにしてきたと確信しております。

現在、私たちは少子化や若年層の市外流出に加え、国内外の政治・経済情勢が不透明感を増すという、予測困難な時代に直面しており、まさに大きな変革が求められています。このような状況下において、貴協会の存在意義は一層高まっていると感じております。

長岡市では現在、今後10年を見据えた次期総合計画の策定を進めており、令和8年度には「米百俵プレイス東館」の完成により、「ミライエ長岡」がフルオープンを迎えます。4大学1高専、長岡商工会議所、金融機関、国際交流センターなど、さまざまな分野の団体・機関や専門人材の集積により、長岡版イノベーションを加速させ、次世代を担う新たな成長産業の創出を目指してまいります。

そのような中、設立20周年を迎えて、「NAZE NEXT VISION ~長岡のものづくりは新たな未来へ~」を掲げられた貴協会の新たな挑戦に、私どもも大きな期待を寄せております。特に、生産性向上や省人化に高い効果が期待できるAIを気軽に利用できる環境「AIダンジョン」を整備し、DXを促進する「AI活用支援事業」は、長岡のものづくり企業の競争力強化に不可欠な取り組みであり、その進展を心待ちにしております。

また、国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」に採択された「モンゴル人材活用事業」においては、会長とともにモンゴルを訪問し、長岡とモンゴルのさらなる連携強化の可能性を強く感じました。今後、モンゴルから長岡市への優秀な人材の就業を加速させるため、産学官による体制整備を力強く進めてまいります。

結びに、NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEが、今後も長岡の未来を創る産業活性化の原動力として、さらなる挑戦を続け、飛躍的なご発展を遂げられるとともに、会員企業の皆様のご隆盛を心より祈念申し上げます。

設立20周年に寄せて

長岡商工会議所 会頭 大原 興人

NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEが設立20周年を迎えたことを心からお慶び申し上げます。

NAZEは、平成17年4月に長岡地域の産学官金が連携して、地域の機械、鉄工産業の活性化を図るために発足した組織であり、設立のきっかけになったのが、その前年に策定した、新潟県の「地場産業アクションプラン」です。

私もプラン策定会議の委員長として何度も協議を重ね、「これから長岡のものづくりとはどうあるべきか」を喧々諤々で議論していたことが、印象に残っています。

NAZEは、「なぜ?」という問いを原点とし、一社では無理なことでも、地域が協力して取り組むことによって、技術力や高付加価値製品などを全国に対して、積極的に情報を発信され、会員相互に信頼関係を構築しながら、精力的な活動を展開されていることは、全国的にも注目されております。

最近では、ものづくり企業のデジタル化・DXの活用にも積極的に取り組まれ、地域企業の生産性向上とイノベーション創出にも大きな役割を果たされています。

あわせて、人口減少と人手不足という課題に対し、高度外国人材の活用に取り組まれる前向きな姿勢は、長岡地域全体に新しい風を吹き込み、相乗効果を与えていくものと確信しております。

地域経済を取り巻く環境は、国際情勢の不安定さに加え、エネルギー価格や原材料価格の高騰などの諸課題により、先行きの見えにくい状況が続いております。

長岡商工会議所といたしましても、令和7年3月に創立120周年という大きな節目を迎え、伴走型経営支援による相談対応を強化していくとともに、販路拡大、売上確保の支援を積極的に取り組んでまいります。

そして、ものづくりの未来を牽引していくNAZEの挑戦を、今後も全力で後押ししていく所存であります。

NAZEの記念すべき設立20周年を契機として、大井会長の力強いリーダーシップのもと、より一層結束を深められ、活力ある長岡地域経済の発展に向けて、さらに飛躍されますようご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。





祝辞

この度、NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEが設立20周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、地域企業、教育機関、産業支援機関、商工団体等との連携を促進し、地域産業の発展および“モノづくりの拠点地域”的形成に多大な貢献をされてきたことに心から敬意を表します。

本学を含む教育機関が、NAZE主催による大学の研究室見学会をはじめ、NAZEとの連携によりMatching HUB Nagaokaや大学等の産学連携センター等を通じて企業・学生・自治体との連携・協働の場の創出を可能にしています。

また、NAZEはJICAと連携した長岡市×モンゴルのDX人材育成プロジェクトなど、国際的な連携による人材育成にも貢献されています。

長岡技術科学大学
学長

鎌土 重晴

これらの活動は、学生・教員・企業技術者が一体となって課題に取り組む好事例であり、本学の教育理念「考え出す大学」に通じることから、多いに連携活用をさせていただいております。

本学は令和8年に創立50周年を迎えます。それに向けて、3Dプリンター等を活用した革新的なものづくりシステムの構築に向けた研究開発を進めるDX棟、食物循環およびエネルギー循環を連鎖させるGX棟の建設に加え、「ものづくりと地域社会に変容をもたらすグローバル技学共修教育モデル構築とR&D人材育成」として、地域・国際社会の課題発券に挑戦する人材を企業・自治体・大学が強力に連携して育成する新たな教育モデル構築にも取り組んでいます。

こうした挑戦を続ける大学として、さらに地域産業と共に未来を創るパートナーとして、今後もNAZEとの連携を深めてまいりたいと存じます。

結びになりますが、関係者の皆様の益々のご健勝とご発展を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



「時代」と「疑問」

時代はどこへ向かおうとしているのか。

それは誰も分からぬ。分からぬものの、私達は前へ歩み、バトンを次の世代へ渡さねばならない。

一方で昨日までの事柄、常識が容易く覆される。社会は自分たちの見える範囲でのみ変化するのではなく、遠い海外の事象が私達の生活、活動に大きく影響を及ぼす。しかも、変化の速度が日々、早まっている。

私達は、この街で、この時代、どこに向かおうとしているのだろうか。

1人1人の歩みは実に頼りない。しかし、時代の風に対し、1人より2人、2人より3人が手を取り合って、先ずは吹き飛ばされないで踏ん張ることは可能だ。そして組織となれば前へ進むこともできる。そのためには皆で考える必要がある。

疑問は日々沸き上がる。「NAZE」と。

疑問を研ぎ澄ませることで「問題」が設定される。この問題はやはり一人では解けないかもしれない。そして問題が何時、判明するものかも分からぬ。しかし、問題を乗り越えないと、その向こう側に私達は赴くことはできない。

私達は「問題」と日々、試行錯誤を繰り返している。

私達は問題を正しく把握しているだろうか。問題をしっかりと捉えているだろうか。

そんな時、助けてくれるのが仲間であり地域である。

社会は日々複雑化して広域の諸々と絡まっている。その一方で技術も、社会のあり方も刻々と進化している。

地域の仲間と見据えた20年が今後の20年の礎となる。これから確実な歩みを期待したい。

長岡造形大学
学長

平山 育男

地域と共に歩んだ20年、さらなる飛躍を願って

NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEの設立20周年、誠におめでとうございます。長年にわたり地域産業の振興と連携強化に尽力されてこられた貴協会の歩みに、心より敬意を表します。

NAZEの活動は、地域企業や行政、教育機関の垣根を越えた連携を促し、まさに長岡地域の産業の活性化に多大な貢献をされてこられました。長岡大学におきましても、教職員がNAZEの各部会の活動に参加したり、本学の特徴的な学びの一つである「学生による地域活性化プログラム」において、NAZEの会員企業からご協力をいただくなど、さまざまな取り組みを通じてNAZEの皆様と協働させていただいております。

近年、地域社会を取り巻く環境はますます複雑かつ多様化し、デジタル化の進展に伴う急速な変化の時代にあって、地域産業の持続的な発展には、柔軟な発想と、課題解決に向けた産学連携の有効なネットワークの構築が不可欠です。こうした時代だからこそ、NAZEの果たす役割は、ますます重要になってくると確信しております。

設立以来20年にわたり築かれてきた信頼と実績は、地域社会の貴重な財産です。次の10年、20年に向けて、さらなる挑戦と革新が進められることを期待しております。私たち大学も、学びと実践の場を地域と共有しながら、共に歩んでまいります。

末筆ながら、貴協会のさらなるご発展と、関係者の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



長岡大学
学長

村山 光博

祝辞

NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEが設立20周年を迎えたことに、心よりお祝い申し上げますとともに、この20年間、貴協会が地域の産業振興や人材育成において、数多くの貢献をされてきましたことに深く敬意を表します。特に、地域の教育機関との連携を通じて、次世代を担う若者たちに多くの機会を提供してこられたことは、私たち教育機関にとっても大変喜ばしいことです。

長岡工業高等専門学校は、貴協会と協力して、特にモンゴル高専人材活用事業（JICA草の根事業）に取り組み、このプロジェクトの産業DX人材育成プラットフォームを構築し、モンゴル高専学生の長岡地域のNAZE会員企業でのインターンシップを実現することができました。今後、学生と企業とのマッチングが実現し、長岡地域のさらなる発展につながることを期待しています。

また、貴協会がこれからの10年、20年を見据えた「長岡版イノベーション」の先導役として、地域産業の価値創造に貢献していく姿勢には、私たちも大いに期待していると同時に、励まされております。地域の活性化は、私たち国立高等専門学校機構にとっても重要なテーマであり、共に手を携えて取り組んでいきたいと考えております。今後とも、長岡工業高等専門学校は、貴協会と共に長岡地域の未来を切り拓いていく所存です。

最後に、NPO法人 長岡産業活性化協会NAZEのさらなる御発展と、地域の皆様とのさらなる協調連携を心より願っております。

20周年おめでとうございます。



長岡工業高等専門学校
校長

小林 幸夫

6 / 7 NAZE NEXT VISION ~長岡のものづくりは新たな未来へ~

はじまりの軌跡

～黎明期に関わった人たちの声～



(株)小西鍍金
技術顧問
小西 統雄

平成16年5月6日午後3時長岡商工会議所6階の会議室に集められた。聞けば新潟県アクションプランの説明会であった。アクションプランとは新潟県(以下県)が県内各地の主要集積地を3年間1億円の資金でその地域を活性化させようという事業であった。都合秋までに十数回の会議が重ねられた。そして、2004年10月23日午後5時56分最大震度7クラスの中越地震が川口町から山古志を中心に起きたのであった。余震回数840。年が明けた2月1日。県から招集がかかった。この地域は地震被害で大変であろうからアクションプラン中止でもいいですとの声掛けがありました。そこで有難うございますという者はだれ一人そこには居なかった。県の持ち込んだシナリオ(プランを立て、モノを作り展示をして評価をして終了)では満足しない。10年後を見据えて行動するプランを選んだのであった。それが今日のNAZE。よくも20年も続いたものです。



テラノ精工(株)
代表取締役
渡辺 豊

NAZE設立20周年、心よりお祝い申し上げます。当時NAZEが何をする団体か分からぬまま、オオイ社長からの強めの勧誘?!で入会しました。(笑)入会して一番良かった事は展示会出展に挑戦できたことです。自社の製品や技術を広く紹介できるだけでなく、来場者や他の出展企業との交流を通じて、新たなニーズや市場の動向を感じ取ることができました。また、展示会をきっかけに得た商談やご縁が継続的な取引や新規プロジェクトへと繋がりました。あらためてこの挑戦がテラノ精工には大きな収穫になったと思います。これからも、NAZE会員企業が互いに切磋琢磨し、高い技術力と柔軟な対応力を持って、地域経済を支える礎になることを期待しています。そして10年、20年先も、NAZEがものづくりの未来を牽引する存在であり続けることを心より願っています。



(株)NEOS
代表取締役会長
山本 敦

平成17年、「長岡産業活性化協議会」という団体名での発足が決まりました。弊社は製造業ではありませんでしたが、初代会長の松原氏より「非製造業も会員となるべき」とのお声がけをいただき、創立メンバーとして参加いたしました。ただ、団体名が堅く親しみにくいため、にいがた産業創造機構(NICO)のような愛称を考えてほしいという依頼があり、TANCやNAISなど10案ほどを提案しましたが、すべて却下されました。帰りの車中で「なぜダメだったのか?」と自問し続けるうち、「『ナゼ』という言葉自体がいいのでは」とひらめき、コーライターに依頼して「NAZE(Nagaoka Activation Zone of Energy)」という名前が誕生しました。20年を経た今、NAZEという愛称が多くの方に親しまれていることに感謝し、今後も愛され続ける名称であることを願っています。

初期プロジェクトのご紹介

～平成17年度事業計画を振り返って～

長岡産業活性化協議会/NAZEは、はじめ任意団体として、平成17年(2005年)に本格的な活動を開始し、「長岡地域地場産業振興アクションプラン事業」を中心とした、産・学・官・金の連携による地域産業の活性化を目指してさまざまな取り組みをスタートさせました。

初年度となる平成17年度の事業では、以下の4つの柱を中心に、地域の技術力とネットワークを活かした総合的支援を展開しました。

1. コーディネート事業

企業間の連携や大学との共同研究、専門家とのネットワーク構築を推進し、新事業の創出や地域全体の技術向上を支援しました。地域内の企業同士の連携強化や、知財の活用を見据えた弁理士との連携も重要な取り組みでした。

2. 情報の受発信ネットワーク化事業

長岡地域の優れた技術・製品情報を蓄積・発信する体制を整え、全国・海外に向けた広報活動を展開。コア技術のデータベース化、ブランド構築、Webサイト運営、展示会出展などを通じて、地域の魅力を発信しました。



展示会(平成20年6月出展)

3. 事業化サポート事業

地域企業の新製品開発や市場開拓を後押しし、開発成果の事業化を促進。各種助成金の申請支援や特許取得支援も行い、ビジネスチャンスの拡大を図りました。



「NEXT道場」長岡電子にて(平成18年8月)

4. 地域産業の振興事業

中越地震を契機に、地域産業の強靭化と次世代への継承を見据えた施策にも注力。地域の再生と活性化に向けた具体的な取り組みを展開しました。



このように、NAZEは設立当初より、長岡地域の産業力を高めるための基盤づくりに尽力してまいりました。20年を迎えた今、これら初期のプロジェクトが礎となり、今日の発展へつながっています。



20年の軌跡

2005-2011

2005 平成17年
会員数42(設立時)

2006 平成18年
会員数55(以降年初)

2008 平成20年
会員数65

2009 平成21年
会員数71

- NAZE設立(任意団体)
地域産業の活性化を目指す横型
ネットワーク組織として
「長岡産業活性化協議会*」
(Nagaoka Activation Zone
of Energy:通称NAZE)が設立



* 2009年から協会に改称。

記念すべき創刊号の内容

- ・働く現場シリーズ「キサゲ」
- ・第10回機械要素技術展
- ・豪技なテクノロジー
- ・ものづくり企業訪問記
- ・ザ・挑戦者～長岡ベンチャー奮闘記



4月

- NAZE設立(任意団体)
- NEXT道場1期生スタート

6月

- 第10回機械要素技術展 初出展
- NAZE会員2社がグッドカンパニー大賞受賞
クリーンテクノロジー(株)とマコー(株)が
優秀企業賞に選ばされました

7月

- NAZE Style創刊



北陸・甲信越地区ではこの長岡の2社のみが
選ばれるという快挙でした

時代背景――

2008年から2011年は、世界的な激動と変化の時代でした。

2008年のリーマンショックによって世界経済は深刻な打撃を受け、多くの企業が再編や縮小を余儀なくされました。一方、スマートフォンの登場とSNSの急速な普及により、情報社会への移行が加速しました。日本では、2011年に発生した東日本大震災が社会や経済、エネルギー政策に甚大な影響を及ぼし、多くの価値観や仕組みが問い直される契機となりました。

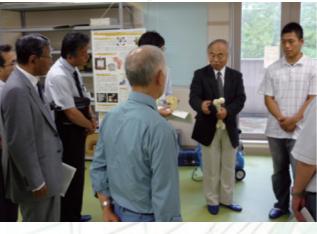
1月

- 第12回機械要素技術展
NAZE会員6社をはじめとする
全11社が出展
お揃いのNAZEジャンパーで
記念撮影



6月

- 新潟大学研究室見学会
8つの研究室を見学
大学生協で活発な
情報交換を行った



7月

- 豪技ロゴマーク決定
新潟大学工学部、農学部研究室見学会
(社)新潟県電子機械工業会と共に催す
工学部の「多元化合物の基礎物性能評価と
薄膜太陽電池の応用」をはじめとする
4研究室を見学
(参加者20名)

4月

- 「長岡産業活性化協会」特定非営利活動法人設立登記申請
長岡地域の活性化の主役であるモノづくり産業が、
自主的に考えてイノベーションに取り組み、
事業を成長させるための活動を展開する

6月

- NAZE企業ガイド2009を発行
新たなビジネスツールとしてNAZE会員を紹介
発行部数:5000部



2010 平成22年
会員数72

2月

- 鹿児島県へ工場視察
京セラ(株)の鹿児島県の国分工場(半導体関連部品生産)、
川内工場(ファインセラミック
ス部品、産業機械用超硬工具
を生産)を視察



京セラ(株)国分工場前にて

4月

- 新部会体制スタート
現在の部会の基礎となる



交流部会長 岡部恒夫
(株)丸栄機械製作所
代表取締役

広報部会長 柴木 樹
(株)アルモ
代表取締役

技術部会長 桑原美博
長岡電子(株)
代表取締役



豪技ロゴマーク決定

- 多孔質セラミックス
- 真空チャック装置
- エアロフィックス
- (株)ナノテム



2011 豪技認定

- ゾル・ゲル状の
ワーク掬いあげ移載機
- スイットル
古川機工(株)



7月

- 新潟大学工学部、農学部研究室見学会
(社)新潟県電子機械工業会と共に催す
工学部の「多元化合物の基礎物性能評価と
薄膜太陽電池の応用」をはじめとする
4研究室を見学
(参加者20名)



『外山脩造賞』授賞式

主催 アサヒビル株式会社新潟支社 後援 長岡市



11月

- NAZE会員(株)大原鉄工所が第1回「外山脩造賞」受賞!
市内鉄工業界を代表するモノづくり企業で、企業ニーズと社会情勢に対応した
企業経営と新エネルギー関連の製品開発等の取り組みが評価された

以降多くのNAZE会員が受賞

- ・第3回 株式会社大菱計器製作所
- ・第4回 内山 弘 (株)長岡歯車製作所
- ・第5回 小西 統雄 (株)小西鍍金
- ・第6回 岡部福松 (株)丸栄機械製作所
- ・第9回 山田清貴 (株)システムスクエア



20年の軌跡

2012-2016

2012 平成24年
会員数78

2012 豪技認定

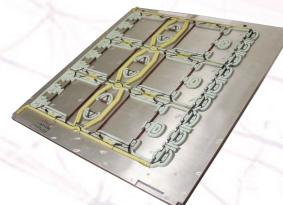
デジタル時代の彫塑スタイル
■ 毛利レリーフ
(有)毛利製作所



*豪技受賞盾に採用された技術

2012 豪技認定

環境配慮の抜型
■ エコ・メタルダイ
(株)片山抜型製作所



7月

ベトナム視察

ローカル企業((株)EMTC)、日系企業(JUKIベトナム(株)、ベトナム日本精機(株))やジェトロ事務所、日本語学校なども訪問。現地従業員教育の苦労話を聞くなどして、グローバルにもの事を考えるきっかけとなったとの感想あり



9月

「EVエコラン競技大会inSUGO」NAZE「すげーねっCAR」が2位入賞!(四輪部門)

NAZEと長岡技術科学大学が連携し、競技用電気自動車(EV車)を製作し、EV車に必要な技術の習得や事業として参入する技術分野を模索

性能評価とNAZEの知名度向上が目的



時代背景

2012年から2016年は、新たな秩序と革新が進んだ時代でした。

世界経済は徐々に回復基調に入り、ICTの進展とともにクラウドサービスやビッグデータの活用が加速。社会やビジネスの構造にも大きな変化が訪れました。日本ではアベノミクスが始動し、金融緩和や経済再生策が打ち出される中、震災からの復興と原発問題を巡る議論が継続。地域再生や雇用創出のあり方も問われるようになりました。

2013 平成25年
会員数74

2013 豪技認定

■ X線検査機 SX2044Wシリーズ
(株)システムスクエア



9月

全日本製造業コマ大戦長岡場所 16チームが参戦 優勝は中村ターンテック(株)(弥彦村)、準優勝は(株)大善、第3位は(株)鈴民精密工業所でした

2013 豪技認定

■ ウエットブラストによる
レストア洗浄装置
■ ココットシリーズ
マコー(株)



2014 平成26年
会員数75

2014 豪技認定

■ 難削材穴明装置
■ 傾斜プランタリ加工装置
エヌ・エス・エス(株)
×長岡技術科学大学



3月

市民に向けて広くNAZEをPR 長岡駅前地下通路に「NAZE案内パネル」展示 「豪技」認定製品をメインに展示



2015 平成27年
会員数71

2015 豪技認定

長岡市内企業の技術を集結し、長岡ブランドを発信!
■ 光る手摺り照明
第四電設(株)



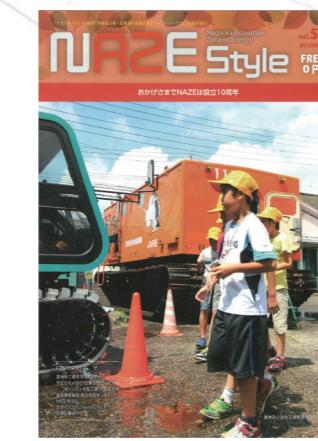
2015 豪技認定

工業用ミシンの
■ 自動糸切りユニット等の刃物類
(株)鈴民精密工業所



9月

NAZE Style 50号発行 節目の50号はNAZE設立10周年のお祝い号でした 10周年を記念した小学生工場見学バスツアーの模様 <(株)大原鉄工所見学>が表紙を飾る



11月

設立10周年記念講演会・祝賀会 アサヒグループホールディングス(株)資料室 鈴木芳彰 様から「外山脩造の志」を講演いただく 小西統雄会長が、外山脩造賞を受賞!



2016 平成28年
会員数73

2016 豪技認定

神の手が磨く
■ ボールねじのテープ研磨装置
(株)サンシン



8月

夏休み小学生工場見学バスツアー 市内小学5、6年生を対象にした工場見学バスツアーを開催した 見学先は会員の(株)大原鉄工所とマコー(株)の2社とハイブ長岡の長岡市産業展示室



講演の様子

受賞式の様子

2017-2020

2017 平成29年
会員数76

2017 豪技認定

- エコ社会推進に向けた再生可能エネルギー発電システム
- 小型バイオガス発電システム
(株)大原鉄工所



3月

- 「ニイガタIDSデザインコンペティション2017」NAZE会員が大賞、準大賞を受賞



IDS大賞:(株)ネオス「ふくら」
小国和紙を活用したカワイイお部屋のインテリア



IDS準大賞:(株)システムスクエア
「錠剤用 金属検出機」

11月

- NEXT道場12期生修了式
次世代の経営者・幹部の基礎を学ぶ経営塾全13回の講座を修了



修了式の様子

2019 平成31/令和元年
会員数82

2019 豪技認定

- 搬送作業の困り事を改善する対応力と技術力
- オーダーメイドの搬送システム
小川コンベヤ(株)



2月

- 全日本ハンドスピナー大戦
長岡ものづくりフェア イベント会場内で開催
回転部門 1位 マロー(株)
チームラクリム「VT-HANABI」
デザイン部門 1位 エヌ・エス・エス(株)
トライヤーズ「スピinnヘックス」

2019 豪技認定

- 生産性の向上と高品質化
AI・ディープラーニングを搭載した異物検査システム
(株)システムスクエア



7月

- 長岡ものづくり
現場改善スクール7月~9月
経産省の「スマートものづくり応援隊」事業
令和元年度はAI・IoTのカリキュラムを充実



開校式の様子

時代背景――

2017年から2020年は、技術革新と不確実性が交錯する時代でした。

AIやIoTの発展により、働き方や暮らしに大きな変化が生まれ、デジタル社会が一段と進展しました。一方で、世界的な分断の兆しが強まり、国際情勢は不安定さを増していきます。日本では少子高齢化が深刻さを増し、社会保障や労働力不足への対応が急務となる中、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大により、社会や経済が未曾有の危機に直面しました。

2018 平成30年
会員数80

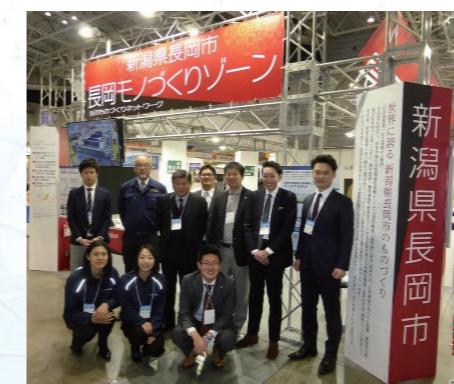
2018 豪技認定

- 細さの限界に挑戦するトクサイ
難加工金属材の細線・極細線製造技術
(株)トクサイ



2月

- テクニカルショウヨコハマ2018出展
「新潟県長岡市」の文字がひときわ大きい



2018 豪技認定

- 新たな可能性への挑戦
非円形歯車
(株)長岡歯車製作所



6月

- 第22回機械要素技術展
過去最高のNAZE会員12社が出展
(豪技2018認定1社含む)



11月

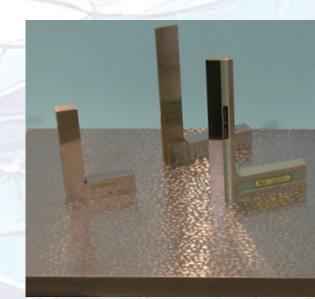
- NAZE交流塾修了
モーガン先生の丁寧な指導とアットホームな雰囲気の中10回の交流塾を修了した



2020 令和2年
会員数80

2020 豪技認定

- 「世界基準」のものづくりを支える
「平面」を提供する技術
(株)大菱計器製作所



7月

- アフリカの課題を解決した長岡のアイデアと技術を逆輸入
JICA・長岡高専・技大・NAZEの連携協定締結
「長岡モノづくりエコシステムとアフリカを繋ぐリバースイノベーションによるアフリカと地方課題解決連携協定」調印式を行う

2月

- 子ども向けオリジナルハンドスピナー製作体験
NAZE特製オリジナルハンドスピナーを採用



9月

- 3部会合同部会
コロナ禍で完全リモートで実施!



10月

- YouTube「NAZEチャンネル」でウェブドラマ「GOUGI」配信





20年の軌跡

2021-2023

2021 令和3年
会員数85

2021 豪技認定

独自技術で、世界最高速のスループットを実現
■ 業界最高速デジタル露光装置 INPREX IP-15UHT
(株)アドテックエンジニアリング



3月

● 「第3回ロボットイノベーションハブ」
ロボットならびにIoT/AI等の先進技術を活用し製造現場の自動化・省人化を目指す
令和2年10月から課題テーマに取り組みその成果を長岡グランドホテルで報告



2022 豪技認定

熟練技能を忠実に発現する
■ オーダーメードの円筒内面・端面研削盤
(株)科学計器研究所



時代背景――

2021年から2023年は、試行錯誤の中で新常態を模索した時代でした。

コロナ禍からの回復と共存が進む中、リモートワークやDX(デジタルトランスフォーメーション)が定着し、生活やビジネスの在り方が大きく変わりました。一方で、ウクライナ情勢や資源価格の高騰、為替変動など、国際社会の不安定化が経済に影を落としました。日本では物価上昇と人手不足への対応が急務となり、社会全体が変革への対応力を問われる局面が続きました。

2023 令和5年
会員数104

2023 豪技認定

過酷摺動を強いられる機械部品の耐摩耗性を保証する
■ 硬質クロムめっきの安定的製造技術
(株)小西鍍金



2月

● 第5回日本オープンイノベーション大賞 内閣総理大臣賞受賞
長岡高専、JICA、技大、デロイトトーマツと一緒に取り組んだ「JICA高専イノベーションチャレンジ」の取り組みが受賞



2月

● NAZEデジタル化事例集の発行
製造業デジタル化実装モデル事業で支援を行った7社の事例をまとめた「令和4年度版事例集」を発行した



3月

● モンゴル高専人材活用事業
長岡市内企業インターンシップを実施
3モンゴル高専の中から選抜された8人がNAZE会員をはじめとした長岡の企業でインターンシップを行った



3月

● チャレンジ事業で4テーマ実施
会員企業の課題解決や技術・製品の特長(優位性)を大学・高専等の研究成果を活用し解決する
「チャレンジ事業」
(株)アルモ、(株)コンドウ印刷、(株)長岡金型、(株)プレテック・エヌの各企業と長岡工業高等専門学校がタッグを組んで問題解決を行った

斜面対応・小型自走式の草刈機の実現
長岡金型 × 長岡工業高等専門学校 和久井 達樹 教授

斜面対応	斜面
●	斜面

斜面対応の実現方法

- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。
- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。
- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。
- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。

斜面対応の実現方法

- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。
- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。
- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。
- 斜面の傾斜度を測定し、それを走行速度（ラジコン）の割合を調整する。

斜面対応・小型自走式の草刈機の実現
(長岡金型 × 長岡工業高等専門学校)

8月

● 長岡ものづくり授業
新潟大学附属長岡小学校の『そうせい(総合学習)』の一環として6年生67名を対象に「長岡ものづくり授業」を6回にわたりNAZE会員と長岡市内の企業が担当



岩塙製菓(株)で実施した授業

NAZEではさまざまな活動を部会・プロジェクトで遂行しています

NAZEは、会員企業がそれぞれの部会に所属し、
さまざまな事業を行なっています。各部会での活動概要を紹介します。



技術部会



先進技術などの視察、技術セミナー、
4大学1高専との課題解決事業を通じ地域会員企業の
底力を強化します。

チャレンジ
事業

研究室
見学会等

技術セミナー
4大学1高専の
研究成果で、
会員企業の
課題を解決



交流部会



4大学1高専や工業高校との産学連携、人手不足解消を
目指した外国人材活用事業、会員同士の連携強化を図り、
会員企業の課題解決、新事業創出を目指しています。

産学連携
事業

学生企業
交流会

会員企業
相互見学会



広報部会



NAZEの事業活動を幅広く発信することを目的に
さまざまな情報発信を行なっています。

広報誌の発行

動画配信・SNS情報発信

Webサイト情報発信

豪技の認定

ワークショップ

イベント出店によるPR



未来人財部会



子ども達やご家族に「ものづくり」に興味を持ってもらい、
地元の「ものづくり」に貢献する
人材の育成を目指します。

子ども向け
ハンドスピナー
製作体験

「長岡企業の
ものづくり」の
情報発信

モンゴル
高専人材
活用事業

信頼の土壌づくりと、企業が成長する活動を展開

NAZEは頑張る企業が成長できる活動を展開しています。
会員企業が自発的に参加することで、より大きな成長の原動力になっています。

デジタル化や外国人材の活用、ものづくり人材育成による人材不足対策

① 製造業伴走型デジタル化支援事業

Ⓐ 改善活動を伴ったデジタルツールの導入支援

- 支援先数5件(新規3件、ステップアップ2件)

Ⓑ NAZEデジタル化なんでも相談

=デジタル化に関するお悩みに対して、専門家を派遣し、訪問またはオンラインでの相談に対応=

- 相談対応者 長岡アイティ事業協同組合

Ⓒ NAZE学園

=デジタルツールを活用した改善リーダーの育成=

- デジタル技術、デジタルツールを利用した現場改善リーダーを育成する長岡オリジナルカリキュラム。
- 9月4日(水) 開校式スタート～11月27日(水) 成果発表会・修了式(全13講座)
- 修了生7名
- 会場：ミライエ長岡、実習先企業は(株)鈴民精密工業所



Ⓓ 長岡ロボットインノベーションハブ

=ロボットをはじめとした製造現場の省力化を支援=

⑦JIMTOF2024見学助成

- 11月5日(火)～10日(日)開催された工作機械見本市の見学参加7社に助成。
入場者数12万9000人(前回比113%)

⑧協働ロボット操作講習会

- ケミコンデバイス(株)長岡工場の協力で隔週金曜日1日コース。

⑨長岡工業高校のロボット人材教育に関する協定に基づくロボット実習

- 10月30日(水)、11月6日(水)、11月13日(水)、11月20日(水)
各日12時30分～15時20分(4～6限)
- 機械工学科電子機械コース3年生対象



② 外国人材の活用、ものづくり人材の育成

Ⓐ モンゴル高専人材活用事業

=JICAの補助金を活用したモンゴルの高専生のインターンシップ事業=

- インターンシップ受入企業として県内企業26社が参加
- インターンシップ参加の5年生7名のうち7名が県内就職を希望



Ⓑ ハンドスピナー製作体験＆タイムトライアル

- 令和7年3月1日(土)・2日(日) 「長岡ものづくりフェア2025」参加 参加者:159名



Ⓒ 子ども向けものづくり学習機会の提供(ものづくり授業)

=前期ものづくり授業(NAZE 担当)=

- 工場見学では、一枚の鉄板から製品が完成するまでの工程と、そこに使われる機械のことや世界トップレベルの技術を知ってもらつた



産学連携や先進技術活用等による長岡版イノベーションの創出支援

① 産学連携による企業の課題解決

=会員企業の課題を4大学1高専等学術機関の研究成果で解決=

(A) チャレンジ事業

- ⑤ (株)長岡金型×長岡造形大学金山正貴 准教授
「5軸加工技術を使った新分野へのアプローチ」
付加価値の高いコンシーマ向けの商品の製作を目指し、キャラクター等の3Dモデルリングから5軸加工機による切削加工までの一連の加工に取組み、事業としての可能性を検証する。造形大学生を対象にコンペを実施デザイン募集。



- ⑥ (株)丸栄機械製作所×長岡技術科学大学磯部浩巳教授
「研削加工品質の改善のための超音波キャビテーション発生装置」
超音波振動によってキャビテーション気泡を励起し、その圧壊時の衝撃力を加工点に作用させることで、めづまりを抑制する装置を試作。そして、円筒研削加工に適用した際の効果について実験検証。



- ⑦ (株)タワシテック×長岡工業高等専門学校矢野昌平教授
「AIを用いたタグ付け管理手法の開発」
会議や打ち合わせでホワイトボードに書かれた情報等をスマートホンで撮影し保存することにより、AIが画像内容を理解し、自動タグ付けを行う。これにより、後ほど検索や参照が可能な「タグ付け管理手法」を開発。

(B) 会員企業相互見学会

- ・7月26日(金)第1回(株)阿部製作所長岡スマート工場見学会 参加者:12名
- ・10月8日(火)第2回(株)志田木材店本社工場見学会 参加者:10名
- ・12月6日(金)第3回(株)長岡歯車製作所本社工場見学会 参加者:15名

② 先進技術・事例の活用

(A) (株)JALエンジニアリングと(株)マテリアル見学

- 10月30日(水)～31日(木) 参加者:11名
 - ・1日目:(株)JALエンジニアリング モンゴル高専生の就労状況や現況を聞き、さらに、旅客機の整備工場を見学。
 - ・2日目:(株)マテリアル 細貝社長より経営理念等を説明。
長期計画での事業承継、「待ち営業」から「攻め営業」へ、垂直立ち上げに向けての計画投資、最小段取りを実現するための生産技術等を見学。



(B) 今年度の新たな試みとして、新潟工科大学研究室 見学

- 8月27日(火) 参加者:21名
 - ・NAZE会員の富永地域産業交流センター長より大学の紹介を受けた後、2班に分かれて4研究室を見学。



(C) 先進技術等のシーズ発表会および技術セミナー

- ⑨ 測定工具の基礎知識オープンセミナー
新入社員や若手社員の教育、ベテラン社員のリスキリング
(学び直し)に役立つセミナーとして、(株)ミツトヨを講師に開催。
6月28日(金)NICOテクノプラザ 参加者:32名
 - ・日頃使っている身近な測定機器のポイント確認
 - ・現場社員の悩みの解決や測定の重要性を再認識

- ⑩ 新潟県工業技術総合研究所先端技術研究テーマ発表会
研究所の先進研究を紹介。
令和7年1月28日(火)NICOテクノプラザ 参加者:31名
 - ・講演1:多関節ロボット2台を用いた協調制御による複雑作業の自動化
 - ・講演2:微細構造射出成型実現のための金型試作

ものづくり地域としてのブランド力の向上

① ものづくりブランドの認知度向上

(A) 豪技の認定

2023年・2024年と応募がなく、今後について広報部会で検討して原案を作成し「豪技」制度を見直すこととした。

(B) 展示会への共同出展

NAZE主催により、長岡市や長岡商工会議所の協力のもと、「長岡モノづくりゾーン」として共同出展し、長岡の優れたモノづくり技術や製品をPR。

- ⑧ 第29回東京機械要素技術展 出展:11社
6月19日(水)～21日(金) 於:東京ビッグサイト

- ⑨ 第26回関西機械要素技術展 出展:8社
10月2日(水)～4日(金) 於:インテックス大阪



- ⑩ 彩の国ビジネスアリーナ2025 出展:5社
1月22日(水)～23日(木) 於:さいたまスーパーアリーナ



- ⑪ テクニカルショウヨコハマ2025 出展:6社
2月5日(水)～7日(金) 於:パシフィコ横浜

② 広報媒体によるPR

(A) NAZE事業紹介動画の作成

- ・他言語字幕などのサポートで海外の人でも楽しめるようなチャンネル=NAZE WORLD=
- ・5本の動画&ショート動画1本を公開中! 言語:モンゴル語、英語



Nagaoka, City of Manufacturing –Crafting Pride, Creating Excellence. | Niigata, JAPAN

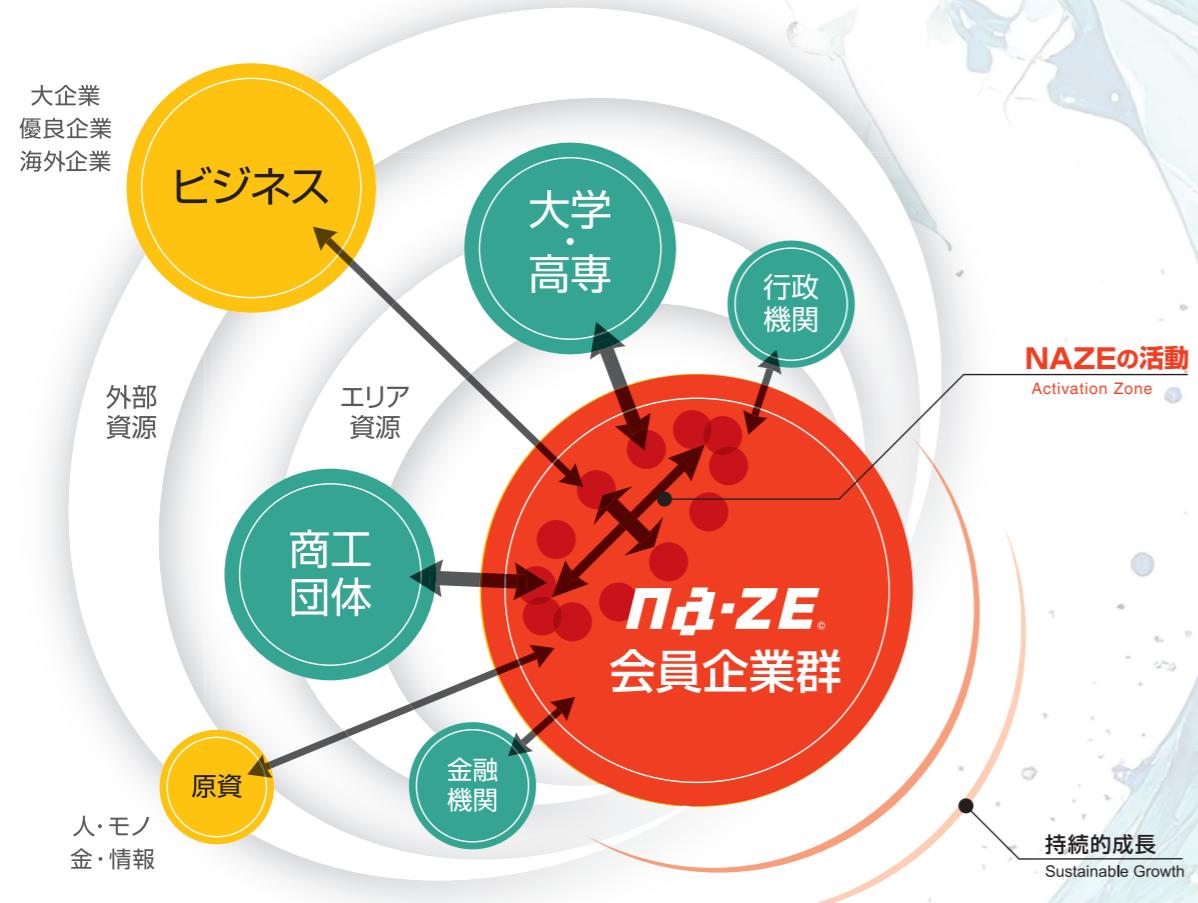
(B) 会員ガイドブックとNAZE Styleの発行



NAZEのご紹介

魅力ある企業・地域を目指して!

各企業にはない資源をNAZEがつなぎ、それを会員企業が活用することにより、成長する仕組みを提供します。



新技术開発、情報発信、連携強化、エリアブランド構築 その答えはNAZEにある

NAZEは、平成17年4月に長岡地域のモノづくり産業の活性化を目的に産業界が主体となって設立された組織です。自発的な意思をもった企業の主導で推進しており、地域内製造業を中心に、大学などの高等教育機関、また、金融機関等も会員として参画しています。個々の企業にはない、様々な資源をNAZEがつなぎ、それを会員企業が活用することにより、企業・地域が成長していく仕組みを提供します。平成21年4月からNPO法人として、新たなスタートを切り、長岡地域のさらなる発展に寄与するため積極的な活動を展開しています。

活動の流儀

- 個々の企業、学、行政が単独でできないことをやる!
- 会員が新たなるきっかけに気づくことをやる!
- 「見える化」をキーとした活動をやる!
- 長岡に、情報や技術を求めて、次々に人が集まるることをやる!

充実した協力体制



NAZEに与えられたミッション

価値の連鎖による「循環」

NAZEのミッションとして価値の連鎖と循環を掲げています。この実現こそが地域・企業の活性化につながります。



高めるもの

- ・売上を増やす
- ・付加価値を上げる
- ・技術を向上する
- ・事業を広げる
- ・社員の能力・意識を高める

育むもの

- ・有能な人財を集める
- ・製造業への就職希望者を増やす
- ・創業・起業を増やす
- ・企業ニーズに沿った支援を充実する
- ・長岡をブランドにする

広がるもの

- ・連携による新しい価値の創造
- ・新分野の仕事の機会の増加
- ・ビジネス・技術につながる訪問・見学の増加
- ・取引先の連携拡大
- ・エリアの認知度向上

What's NAZE?



Nagaoka Activation Zone of Energy

NAZE=「なぜ?」

という未知の技術に取り組む姿勢を意味しています。

NAZEのロゴの中には「A」と「Z」の文字が隠れています。モノづくりの「AtoZ」つまり、モノづくりの「初めから終わり」までがNAZEの中に存在し、それを活用することで新たなアクションを生み出すことができます。初めの「A」は、正確なカタチではないけれど、終わりの「Z」では、高度な技術、情報、さまざまな連携を育んで、きちんとしたカタチ(モノ)に仕上げていくそのプロセスもこのデザインに表現されています。カラーの赤は「a-z」を強調する、熱意と団結力、そしてメイドインジャパンの高度な技術もイメージしています。

NAZEの基本方針

長岡地域のモノづくり産業のイノベーション促進に向けた先導的役割を果たすため、コーディネート機能の強化を図って、企業間連携をはじめ、大学等の教育機関、産業支援機関との連携・交流を推進し、長岡ブランドの発信に努めます。



長岡ものづくり 20年の軌跡と未来図

NAZEの20周年を記念して、各部会の代表の皆さんにお集まりいただき、これまでの歩みや今後の展望について、ざっくばらんに語っていただきました。



令和7年8月27日(水) ミライエ長岡 5階 イノベーションサロンにて



NAZEの強み

永島技術部会長（以下：永島） NAZEは産官学のメンバーが揃つていて、同じ業界でも分野が違う企業が参加しています。そのため、お互いの問題や困り事を気軽に相談できる環境があります。さらに、高専や大学の先生方も交えて議論し、それを自社に持ち帰って検討・解決につなげられる。これがNAZEの強みだと思います。取引がなくても全く違う分野の話を聞けることで、自社の仕事に生かせる部分も多いと感じています。

中町交流部会長（以下：中町） 私の会社は小千谷市にありますので、最初は準構成員として参加しました。その後、長岡広域地区での活動が始まるタイミングで正会員に入れていただきました。長岡市はものづくりが非常に盛んですが、一つの分野に特化しているわけではなく、多種多様な産業が集まっているのが特徴です。日本でもトップクラスのシェアを持つ企業や、ニッチな分野でトップを誇る企業も多い。永島さんがおっしゃるように、幅広い業種の方々の話を聞けることは、とても大きな学びになりますね。

小川未来人財部会長（以下：小川） 私はNAZEに参加して10年ほどになりますが、最初はどんな会なのかよくわかりませんでした。けれども、多くの企業の皆さんと話をし、いろいろなチャレンジに関わるようになってから、ようやくNAZEの意味がわかってきました。企業の課題をしっかりとクリアできる取り組みがあって、参加することで確実にプラスになる。皆が同じ方向を見て真剣に結果を求めていることを実感しています。中小企業1社では不可能なことも実現できる。そういう意味で、とても有意義な活動ができていると感じています。

今枝広報部会長（以下：今枝） 当社は18年前に神奈川県川崎市から工場を移転し、稼働を始めました。その直後にリーマンショック



て起き、数ヶ月にわたり仕事が9割減という厳しい状況になりました。そこで長岡市に相談したところ、NAZEの若手経営者育成事業「NEXT道場」を知り、受講を希望して入会しました。NAZEには本当に多様な業界の方が集まっていて、100社を超えるネットワークを活用できる。自社の強みや弱みを明確にできることが大きなメリットです。

小川 NAZEは動きやすさが魅力だと思います。市の担当者もいれば先生方もいて、思い切ったことに挑戦できるのはやっぱりNAZEならでは。例えばモンゴルからの人材受け入れも、1社単独では難しい試みでしたが、NAZEだからこそ実現できました。しかも会員は皆さん主体的に参加している。その姿勢が、この組織を他と違うものにしていると思います。

中町 さらに、会員企業の会費だけでなく、長岡市や長岡商工会議所から多くの支援をいただいている。また、決まったことをすぐに実行できる。このスピード感もNAZEの強みだと思います。

進化する各部会の役割

中町 交流部会では、他県や他社の見学会を実施しています。5SやDXなど、様々な取り組みを直接見ることができます。本来ならライバル関係にある会社の内部を見るのは難しいはずですが、昨年はJALの整備工場や墨田区の工場なども見学させていただきました。これはNPO法人であるNAZEだからこそ門戸を開いていただけたのだと思います。単なる懇親の場ではなく、実務優先の活動になっている点が、この部会の大きな価値だと思います。



小川 子どもたちを対象にした取り組みは、以前から各部会で行われていましたが、部会同士の連携や教育委員会との関わり方に課題がありました。そこで2年前に未来人財部会が発足しました。

NAZEとして、地域の子どもや保護者に長岡市のものづくり産業の素晴らしさを伝えたいと考えています。長岡の企業は海外とも取引があり、東京に出なくても国際的に活躍できる仕事がある。その事実を知ってもらい、地域に貢献する人材を育てたいのです。また、労働人口が減る中で外国人と共に新しい社会を築くことも重要な役割だと考えています。その基盤づくりとして、さまざまな挑戦を進めているところです。



今枝 この20年で広報の考え方は大きく変わりました。リーマンショック以降は展示会に出演し、集客を目的に動画や冊子を用いた広報活動を行ってきました。近年ではモンゴルなど海外からも人材を受け入れる中で、「NAZE WORLD」というYouTubeチャンネルを立ち上げ、長岡市や地元企業の魅力を発信しています。若手育成や外国人採用、新規受注において、企業PR動画は欠かせないものとなり、専門家の指導を受ける機会も設けています。しかし、長岡には素晴らしい企業が多くあるにも関わらず、若者の認知度はまだ低い。今後は小学生の段階から魅力を伝え、将来「長岡で働きたい」と思ってもらえるように意識づけをしていきたいと考えています。

永島 発足当初、技術部会は金属加工に関する勉強会やセミナーを中心で、切削工具の使い方や選定について学んでいました。しかし最近はDX化をテーマにした取り組みが増えています。挑戦的な事例としては、NTTの協力を得て、ミライエ6階に「NAZE AIダンジョン」というAI体験拠点をオープンしました。

未来への挑戦

永島 昨年、技術部会の補助金事業の一環として、長岡高専の矢野先生とNAZE会員企業で産業装置メーカーのタワシテックさんがAIによるタグ付ファイルアプリを開発しました。部会内でもAIへの関心が高まり、初心者向けセミナーと専門家向けの会合を同時に開催。その交流から「NAZE AIダンジョン」が誕生しました。今後は独自のサーバーを立ち上げ、各企業の異なるニーズを踏まえて、何ができるか、何が必要かを見極め、開発につなげたいと考えています。

中町 交流部会では、これまで新社会人や若手経営者を対象としたチャレンジ型の勉強会を行ってきましたが、今後は少し年齢層を広げ、自分たちがどう生き残っていくかという視点でAI講座を開いていきたいと思います。ChatGPTや電気自動車の普及など、社会やパソコンの活用方法は大きく変わっています。これからの世界の変化について仲間と共に学ぶことで、効率的に対応できるのではないでしょうか。

小川 今期は社会貢献も意識し、子どもたちを対象に「夏休みのものづくり教室」を初めてNAZE主催で開催しました。NTTにはラズベリーパイを使ったプログラミングを指導いただき、NAZEはハンドスピナーをより長く回す工夫を教えてました。長岡高専の学生にも協力してもらい、子どもたちが「将来は高専に行きたい」と思ったり、ものづくりの楽しさを知ったりするきっかけになればと考えています。将来的には多くの企業にも参加してもらい、子どもたちが自由に好きな体験を選べる場を作りたい。それがNAZEのアピール力を高めることにもつながると思います。



今枝 広報部会としても、外部への発信にさらに力を入れていきたいです。会員向けには、引き続きSNSなどを通じて正確な情報をリアルタイムに届けます。その一方で、先日初めて高校・専門学校・大学生向けの動画制作ワークショップを企画したところ、大変好評をいただきました。長岡の製造業がどんな取り組みを行い、どんな価値を追求しているかを発信することで、地域の知名度を上げていく。そして小中高生にも、長岡で将来働く場があるということをもっと知ってもらいたいと思っています。

NAZEが捉える時代の潮流

小川 今の時代は大学の勉強が細分化・専門化しています。そのため、せっかく学んだことを伸ばしてあげたいと思っても、企業側にその環境を用意できない場合もあります。製造業といつても必ずしも理系にこだわる必要はなく、パソコンや数学的センスを持った人材を求めています。もちろん新卒の学生にも来てほしいですが、首都圏で生活を経験したIターンやJターンの方にも長岡の企業は合うのではないかでしょうか。

中町 東京と地方の給与差、雪国という環境、地域コミュニティの課題など、解決すべき問題はこれからも出てきます。しかし潜在的な需要という意味では、IターンやJターンの希望者は以前より増えているように感じます。

今枝 長岡市の調査によると、就職した若者の7割が地元企業を知らなかつたという結果が出ています。知名度の低さが学生の選択肢を狭め、県外流出の一因になっているのなら、もっと自社をアピールする必要があります。当社ではこれまで縁のなかつた造形大や留学生のインターンを、NAZEのネットワークを通じて受け入れる取り組みを始めました。お互いの理解を深める新しい試みです。

中町 今では、昔なら考えられないことがすべてパソコン上でできるようになり、まるで産業革命や明治維新のような変化を感じます。その一方で、人口減少による人手不足は深刻です。長岡地域の企業



は一点一様のものづくりが多く、量産型のメーカーと比べるとロボット化や自動化は遅っていました。しかしDXを取り入れれば労働時間を減らせる業務は必ずあります。当社では夜間の自動運転を検討しています。また、女性の現場進出が増えていることから、経験や技術を補う「レシピ」と呼ぶマニュアルをDXで作成しました。さらに在宅勤務やリモート勤務も導入しており、DXの活用は幅広く可能性があると感じています。

小川 長く使う機械を提供する以上、メンテナンスや部品交換は避けられません。その点でDXを活用し、記録はアナログではなくデジタル化しています。ただし過去のアナログ情報が足かせとなることもあります。そこで高専の先生方に相談しながらAI技術を用いて完全デジタル化を目指しています。市販のシステムは高価で自社に合わない場合も多いため、NAZEの場を借りて学生を巻き込み、ベンチャー企業設立の可能性も視野に入れながら共同で開発できれば面白い展開になるのではと考えています。その第一歩として、高専の矢野先生にお願いをしているところです。

今枝 当社でも工程の一部でDXによる無人化ができないか模索しています。デジタル化を進めると、現場の工員への負担が大きくなりがちです。そのため、高専などDX分野に強い人材を採用し、専属で構築してもらうことが必要だと感じています。そうなると人材確保のための情報発信が重要で、ホームページの役割は非常に大きい。

先日、写真や見せ方を工夫するためのセミナーを専門家の方に来ていただき実施しました。採用にはコストがかかる時代だからこそ、効果的にアピールする方法を相談しながら取り組んでいます。

長岡にNAZEがある意味 そして、これからの20年

小川 これからは、NAZEがどのように認められたいかを明確に決めていく必要があると感じています。どんな成功事例で注目され、「見学してみたい」と言われる団体になれるのか。それらを考えることが、正しいNPOとしての道ではないでしょうか。利益追求ではなく、1社ではできないことを皆で取り組んでいるからこそ成長できている。その「繋がり」を示せたら良いと思います。

永島 一言で言えば、全国的に知られる会になれば嬉しいですね。技術部会で進めているアプリ開発が成功すれば話題になるでしょうが、それだけではなく、この地域には多様な技術があります。それらが一堂に集まつた「ショールーム」のような存在になれれば理想的だと思います。

今枝 NAZEそのものがモデルケースとして成功すれば、「長岡のNAZEは就職がうまくいっている」「人材に困っていない」「人が集まつてくる」という状況を作れるはずです。また、外国の方々も増えていくと思うので、働きやすい街づくりが必要です。住む場所やコミュニティを整備し、「ここでずっと暮らしたい」と思ってもらえる環境を作りたいですね。



今後20年の展望についてですが、もし今年をAI元年とするなら、5年後には社会全体が大きく変わっていると思います。その中で、新しい仕事や働き方を的確に情報発信し続けることが、広報としての役割だと考えています。

中町 国は「100億宣言」によって大企業支援を進めていますが、NAZEは中小零細の集まりです。だからこそニッチトップをさらに伸ばし、大きな拡大は難しくても20年後も続く「緩やかな存続」を願っています。各社には固有の技術がありますが、共通のプラットフォームも多い。共に学び合い、独自の技術を伸ばしながら、協力し合える仕組みを作りたい。緩やかな武士軍団のような存在でいたらと思います。

小川 20年後には、私たちが始めた未来人財部会の流れがしっかりと受け継がれ、そこで学んだ子どもたちが長岡の企業に就職してくれていたら一番嬉しいです。そして、その流れがさらに先へと続いていくことを願っています。

永島 技術部会としては、20年前から取り組む内容は少しづつ変化して、今はAIへと変化しました。ただし「人材教育」という部分は変わっていません。これからも人と人とのつながりを重視し、NAZEも自社も共に存続できる環境を築いていきたいと思います。

全員 本日はありがとうございました。

若手経営者たちの想い

20年の歩みの先に ~これからの私たちの挑戦~

20周年を迎えた歩みの先には、新しい挑戦に向かう若手経営者たちの姿があります。ここでは、その代表として3名の声を取り上げ、一人ひとりの想いを紹介します。



(株)THE TWO
代表取締役社長 高野 宙

NAZE設立20周年、心よりお祝い申し上げます。20年前、芸大進学のため長岡を離れた私が、再びこの地に戻り、仕事に情熱を注げていることに深い感慨を覚えます。夢を仕事にできたのは、努力に加え、支えてくださった方々、そして「いつでも帰れる場所」としての長岡の存在があったからです。コロナ禍を機に日本へ戻る決断をした際、外で挑戦を続けていた自分が地元に戻ることに迷いや戸惑いもありました。それでもNAZEをはじめ多くの方に機会をいただき、新たな挑戦を重ねるなかで、今は自信を持って長岡にいる自分を肯定できています。これからの20年は、若者がまた戻りたいと思える長岡を、地域の一員として共に育てていきたい。そして、地方にいても夢は実現できることを、自らの歩みを通して伝えていきたいと考えています。



(株)タワシテック
代表取締役社長 田中 晃

長岡産業活性化協会NAZE設立20周年、誠におめでとうございます。人口減少や人手不足が深刻化する中、製造業においても省人化・効率化は避けて通れない重要な課題となっています。こうした変化の時代において、企業同士が業種や規模の垣根を越えてつながり、互いの技術や知見を活かし合うことが、今後ますます求められると感じています。NAZEはまさにそうした連携と共創の場として、地域の産業を支える大きな存在です。若手経営者として、私自身も学び続けながら、地域に根差した新しい価値創出に貢献していきたいと考えております。また、次世代を担う若い人材がこの地域で夢を持ち、ものづくりに誇りを感じられるような環境づくりにも取り組んでいきたいと思います。そのためにも、産学官の連携をさらに深め、地域全体で未来を築く体制づくりが重要だと考えます。NAZEの更なるご発展と、地域産業の持続的な発展を心より祈念申し上げます。



新潟理研測範(株)
代表取締役社長 内藤 豊

御年74歳の“スーパーおじいちゃん”がいます。技術に対する深い知見と洞察力を持ち、「職人」「名工」と呼ぶに相応しい方です。彼と仕事をする中で、一本の鎧(たがね)とハンマーを使い、鉄を正確に、そして力強く打ち込むその姿を、私は一生忘れないと思います。性格は明るく、指導は丁寧。自分のことは自分でこなし、陽気な人柄でゴルフも楽しんでいます。「本当はこうするんだよ」と、陰に日向に範を示してくださいその姿勢に、深く敬意を抱いています。これだけの技術と人柄を備えた方が、なぜ一つの表彰も受けていないのか。少し寂しく感じます。当社に限らず、こうした名もなき技術者に支えられて、私たちの製造業は成り立っています。NAZEでは、そうした職人たちにこそ光を当て、生きた証を表彰して頂きたい——心から、そう願っています。

■ 20周年記念ロゴデザインコンペ



デザイン説明(サイ ユンチ氏)

ロゴの中心には、NAZEの「20」という数字が大きくなっています。この数字は、NAZE 20周年を表すと共に、長岡市の花火をイメージしたデザインとなっています。長岡の花火は、日本三大花火の一つに数えられ、長岡市民にとって誇り高い存在です。



最優秀賞を受けて

このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。長岡をはじめとする地域の皆さまの活きや想いが、このロゴを通じてさらに広がっていけば嬉しいです。

左から、優秀賞：斎藤豪海氏・高見澤鈴花氏、会長賞：出口真由香氏。
いずれもNAZEのロゴの由来や「ものづくり拠点地域」といった原点に立ち返り、未来に向かっていく期待感のあるデザインであることが評価されました。

表紙のデザインコンセプト

繋がるチカラが、
未来をひらく

NAZEが20年にわたり築いてきたのは、産・学・官が互いの枠を越えて結び合う[つながり]の力です。その力は、個の活動を越えて地域を動かすうなりとなり、新しい可能性を生み出してきました。表紙では、その「連携のダイナミズム」を虹色の気流で表現しています。多様な色が交わり、重なり、響き合う。このうなりが、やがて大きな希望となって地域を包み込み、新たな時代へと光を放っていく、それがこのデザインに込めた想いです。

■ 20周年記念誌(本誌)の発行



■ 動画制作ワークショップ

NAZE設立20周年を記念し、今注目を集める動画制作について2日間ワークショップを行いました。計50名を超える参加者が集まり、盛況の2日間となりました。



学生向け 令和7年8月25日(月)開催

ディレクターの仕事とは

～二人の監督に学ぶ映像ディレクションの秘密～

高校1年生から大学生・OBまで21名が参加。

新潟市、三条市、長岡市など市内外から集まった参加者たちは、現役監督の話を通じて映像ディレクションの魅力や実際の仕事について学びました。ワークショップ後の茶話会では、参加者同士が夢や目標を語り合い、同じ志を持つ仲間との出会いに刺激を受ける姿が印象的でした。参加者からは「貴重な学びの機会だった」「仲間と学び合えてよかった」といった声が寄せられました。



会員向け 令和7年8月26日(火)開催

講義とハンズオン授業で
丸一日かけて行うワークショップ

NAZE会員企業などから32名が参加。

スマートフォンを活用した映像制作の基礎を学び、日常の情報発信に役立てる内容でした。受講者からは「さらに深く学びたい」「次は編集やAIの活用について知りたい」といった意見もあり、映像制作への関心の高さがうかがえました。参加者の興味は幅広く、内容も好評で、今後のステップアップを望む声も多く聞かれ、有意義な学びの場となりました。

■ 20周年記念講演会

歴史の岐路に立つ日本



講師 門田 隆将氏
作家・ジャーナリスト

令和7年
6月3日(火)開催

会場
アオーレ長岡
市民交流ホール

聴講者:150名
国内の政治情勢、
中国をはじめとする
国際情勢に関する
講演いただいた。

■ 20周年記念ゴルフコンペ



令和7年
6月21日(土)開催
会場
長岡カントリー倶楽部
参加者:29名

優勝: 松田勇介

準優勝: 伊藤太紹

第3位: 渡辺潤一郎

設立記念賞: 本田直利
(20位)

会員企業紹介

「モノづくり」のスペシャリストが集まるNAZEなら
皆さまの抱える問題を解決できます!!

機械・部品設計、各種加工、組立・アッセンブリ、その他製造に関わること、
皆さまがお持ちの問題点があれば、会員各社が持つ技術・製品などをご紹介します。
NAZE事務局及び、NAZE会員企業各社にお気軽にご相談ください!

目次兼事業分野早見表

	頁	設 計	鍛 金	機 加	板 製	表 熱	電 機	表 組	支 援	教 育
株アシヒブレッシュン	34		●							
飛鳥運輸(株)	39							●		
株アドテックエンジニアリング	38	●	●	●	●	●	●	●	●	
株阿部製作所	36			●	●					
株アルモ	33	●	●	●						
株アンドウ	34		●							
株池田機工	36		●	●	●		●			
イトーキマルイ工業(株)	36		●	●	●	●				
株Welding	37	●	●	●	●	●				
株API技研	33	●					●			
エヌ・エス・エス(株)	34		●				●			
株NS・コンピュータサービス	33	●						●		
株NDC	33		●							
株NTT東日本 新潟支店	39							●		
株F・S・エンジニアリング	38		●				●			
エフビーディーズ	40							●		
株オオイ	34	●	●				●			
株大善	34		●							
株オータニツール	34		●							
有大塚木型製作所	33	●	●							
株大原鉄工所	38	●	●	●	●	●	●	●	●	
株大菱計器製作所	38	●	●	●	●	●	●	●	●	
小川コンベヤ(株)	38						●			
株科学計器研究所	38	●	●				●			
株片山抜型製作所	35		●				●			
北川グレストック株長岡研究所	38						●			
株共英鋳造所	33		●							
久保誠電気興業(株)	37	●	●	●	●	●	●	●	●	
クリーン・テクノロジー(株)	38	●					●			
クリエイトエンジニアリング(株)	33	●					●			
ケミコンデバイス株長岡工場	37			●						
高速印刷(株)	40							●		
株小西鍍金	37			●	●					
有小林超硬研磨	35		●							
コンドウ印刷(株)	40							●		
株坂源	35		●							
株サカタ製作所	36		●	●						
株THE TWO	40							●		
株佐藤板金	36		●	●	●					
株サンシン	38	●					●			
株サンプラス三笠	34		●							
JPC(株)	38	●	●				●			
株システムスクエア	38	●					●			
株志田木材店	35		●							
株七里商店	40							●		
株シナダ	39	●	●	●			●			
昭栄産業株長岡支店	40							●		
有シバー木型工業	34		●							
株真明機設	40							●		
株鈴民精密工業所	35	●	●	●	●	●	●	●	●	
株大光銀行	40								●	
株第一測範製作所	39	●	●						●	
第四電設(株)	37	●								●

個人会員

富永 賢秀 【新潟工科大学 地域産学交流センター長】
小西 統雄 【株小西鍍金 技術顧問】

設計・開発

機械設計
電気・電子設計
ソフトウェア開発

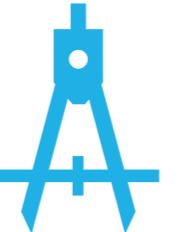


精密スプレー技術で未来を創る
精密スプレーコーターの頂点、技術と革新の未来

株式会社 API技研

〒940-2106
新潟県長岡市古正寺3丁目90番
☎0258-89-8662
(窓口担当者: 取締役事業部長 小林 敬)
Fax: 0258-89-8762
E-mail: t.kobayashi@api-giken.co.jp

<https://api-giken.co.jp/>



幅広い知識で完全オーダーメイドの
機械設計を提供します

クリエイトエンジニアリング 株式会社

〒940-1101
新潟県長岡市沢田1丁目1番地6 SFビル2F
☎0258-94-7788
(窓口担当者: 代表取締役 吉田 久)
Fax: 0258-94-7789
E-mail: yoshida@create-eng.co.jp

<http://www.tawashitec.com>



産業用ロボット、産業用装置のことは
お任せください

株式会社 タワシテック

〒940-2059
新潟県長岡市大荒戸町66-6
☎0258-94-6157
(窓口担当者: 代表取締役社長 田中 晃)
Fax: 0258-89-6158
E-mail: soumu@tawashitec.com

<http://www.tawashitec.com>



装置・製造ラインのコンパクト化・
省力化・コスト削減を実現

古川機工 株式会社

〒940-1138
新潟県長岡市滝谷町字狐塚1917番7 滝谷工業団地
☎0258-22-3501
(窓口担当者: 代表取締役社長 古川 孜也)
Fax: 0258-22-3505
E-mail: ty.furukawa@furukawakikou.co.jp

<https://www.furukawakikou.co.jp/>

鉄鋼・鋳造・
ダイカスト

鋳造
ダイカスト
鍛造
粉末冶金
ロストワックス

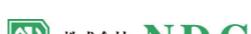


金型設計から仕上げまでアルミ鋳造の一貫製造

株式会社 アルモ

〒940-2045
新潟県長岡市西陵町2674-29
☎0258-46-0606
(窓口担当者: 営業部 川端 裕樹)
E-mail: info@almo.co.jp

<http://www.almo.co.jp/>



金型設計から鋳造・仕上げまでを一貫生産

株式会社 NDC

〒949-5335
新潟県長岡市小国町太郎丸1232番地
☎0258-95-3230
(窓口担当者: 代表取締役 高橋 伸行)
Fax: 0258-95-4751
E-mail: ndcnew@cc.wakwak.com

<https://www.ndcnew.co.jp>



発泡スチロール、木、樹脂の機械加工、
鋳物調達はお任せください!

有限会社 大塚木型製作所

〒940-0871
新潟県長岡市北陽2丁目14-24
☎0258-24-0509
(窓口担当者: 代表取締役 矢代 慎也)
Fax: 0258-24-4822
E-mail: tukaki@i.707.to

<http://www.ohtuka.co.jp/>



長岡の地にて創業110年、品質第一、
技術と信頼をモットーとした鋳物屋です

株式会社 共英鋳造所

〒940-0882
新潟県長岡市宮下町420-1
☎0258-24-2558
(窓口担当者: 代表取締役社長 太田 彰子)
Fax: 0258-24-3385
E-mail: kyouei@beach.ocn.ne.jp



MIKASA
明日の容器を考える ミカサ グループ

オンリーワンに応えて半世紀! オーダーメイドで
信頼のプラスチック容器を提供します

株式会社 サンプラスチック三笠

〒954-0104
新潟県見附市坂井町1-2-3
☎0258-66-5815
(窓口担当者: 取締役工場長 横口 勝)
㈹0258-61-2121
✉masaru@sun-mks.co.jp

<http://www.sun-mks.co.jp/>

SHIN-EH

鋳造品用金型、木型、発泡型において
あらゆるニーズにお応えします

有限会社 シンエー木型工業

〒940-0871
新潟県長岡市北陽1-53-46
☎0258-22-7640
(窓口担当者: 代表取締役社長 高橋 大輔)
㈹0258-22-7641
✉shin-eh@cup.ocn.ne.jp

<http://www.shin-eh.jp/>



多品種少量生産に対応した
高品質・納期厳守をモットーにしています

株式会社 若月鋳工所

〒940-0882
新潟県長岡市宮下町436-6
☎0258-24-5661
(窓口担当者: 代表取締役 若月 悠太)
㈹0258-24-8032
✉wakachuu-yt@io.ocn.ne.jp

<https://wakatsuki-chukousho.jp/>



試作からの部品作りをお手伝い致します

株式会社 アサヒプレシジョン

〒949-5411
新潟県長岡市来迎寺1750番地1
☎0258-92-6440
(窓口担当者: 営業部・部長 種岡 雅一)
㈹0258-92-6443
✉masakazu.taneoka@asahi-precision.co.jp

<http://asahi-precision.co.jp>



設計、精密切削・研削加工、研磨、組立まで
一貫生産対応

株式会社 オオイ

〒940-2022
新潟県長岡市鉄工町1-1-44
☎0258-29-2923
(窓口担当者: 代表取締役 大井 尚敏)
㈹0258-29-2984
✉naotoshi@oi-kk.co.jp

<http://oi-kk.co.jp>



環境との調和、社会との共生、
地域とともに持続可能な未来を目指して

北越メタル 株式会社

〒940-0028
新潟県長岡市藏王3丁目3-1
☎0258-24-5111
(窓口担当者: 代表取締役社長 加納 愛仁)
㈹0258-24-4553
✉itooyama@hokume.co.jp

<https://www.hokume.co.jp>



銅合金、アルミニウム合金鋳物
1個からでも対応可能

有限会社 渡辺合金鋳造所

〒940-2022
新潟県長岡市鉄工町2-4-47
☎0258-27-1857
(窓口担当者: 代表取締役 渡辺 潤一郎)
㈹0258-29-2381
✉watago@nscs-net.ne.jp

<https://waf1937.com>



量産安定管理で異形状製品の
高品質、納期、コストダウンをご提供

株式会社 アンドウ

〒940-0871
新潟県長岡市北陽1-53-81
☎0258-24-1044
(窓口担当者: 代表取締役 安藤 学)
㈹0258-24-6170
✉manabu@andoh-co.jp

<http://andoh-co.jp>



各種材料、大小さまざまな部品の
切削加工をご提供します

株式会社 大善

〒940-1131
新潟県長岡市十日町1040
☎0258-22-0835
(窓口担当者: 代表取締役 大宮 五十男)
㈹0258-22-1423
✉info@ohzen.jp

<http://www.ohzen.jp>



最新鋭の工作機械を駆使して
あらゆるニーズにお応えします

株式会社 オータニツール

〒940-0013
新潟県長岡市原町1丁目5-25
☎0258-24-5434
(窓口担当者: 専務取締役 大谷 秀利)
㈹0258-24-0589
✉h-otani@otani-tool.jp

<http://www.otani-tool.jp>

Diemex

型破りな型屋が新しい技術をお届けします!

株式会社 片山抜型製作所

〒940-2147
新潟県長岡市新陽1-11
☎0258-21-5264
(窓口担当者: 取締役製造部長 日根 哲)
㈹0258-21-5265
✉hine@diemex.com

<http://diemex.com>



自社工場で製材、木材乾燥、NC加工など
木質材料の特殊加工や注文材を提供しています

株式会社 志田木材店

〒940-0897
新潟県長岡市新組町2327
☎0258-24-0511
(窓口担当者: 代表取締役 志田 喜弘)
㈹0258-24-0611
✉y-shida@shida-lbr.co.jp

<https://www.shida-lbr.co.jp/>



歯車のプロフェッショナルとして
高精度・高機能な製品を作り続けています

株式会社 長岡歯車製作所

〒940-1146
新潟県長岡市下条町777
☎0258-23-3333
(窓口担当者: 代表取締役 加納 孝樹)
㈹0258-23-3335
✉gear@nagaha.co.jp

<http://www.nagaha.co.jp>



金属部品の加工ならお任せ下さい

株式会社 波多製作所

〒940-0874
新潟県長岡市永田3-8-32
☎0258-24-0005
(窓口担当者: 代表取締役 波多 乙三宏)
㈹0258-24-0016
✉khata@aqua.ocn.ne.jp

<http://www.hatass.jp>



設計・精密金属部品加工・組立までの
オールラウンダー企業

株式会社 プレテック・エヌ

〒940-2045
新潟県長岡市西陵町221-28
☎0258-47-1188
(窓口担当者: 管理部 部長 永井 邦幸)
㈹0258-47-1190
✉k_nagai@pretech-n.co.jp

<https://www.pretech-n.co.jp>



1個から数個の精密金属部品製作・加工、
超硬等の特殊材質加工

北陽精工 株式会社

〒940-2147
新潟県長岡市新陽1-17
☎0258-42-8111
(窓口担当者: 代表取締役 原田 雅彰)
㈹0258-42-8112
✉info@hokuyo-seiko.co.jp

<http://www.hokuyo-seiko.co.jp/>

<div style="position: absolute; left: 0; top: 0; width: 100%; height: 100%; background-color: white; opacity: 0.006

設計開発

毛利レリーフ
愛慕な想いをカタチに。

時流に先んじた研究と新たなる創造を
機械加工技術で実現

有限会社 毛利製作所
〒940-0006
新潟県長岡市東高見1-1-7
☎0258-24-1054
(窓口担当者:代表取締役 毛利 聰一)
Fax 0258-24-0429
✉mohri.t@themis.ocn.ne.jp

<http://www.mohri-mhr.com>

板金・製缶
製缶
溶接
板金
プレス加工

株式会社 阿部製作所
〒940-2402
新潟県長岡市板町与板字江東乙1902-4
☎0258-72-4500
(窓口担当者:取締役統括本部長 佐藤 秀明)
Fax 0258-72-4505
✉h_satoh@abess.co.jp

<https://www.abess.co.jp/>

FHT

2017年には国土交通大臣認定工場
Mグレード認定を頂きました

株式会社 古川廣吉鉄工所
〒940-2022
新潟県長岡市鉄工町1-2-57
☎0258-84-7991
(窓口担当者:代表取締役 古川 勇人)
Fax 0258-84-7992
✉furuhiro@crux.ocn.ne.jp

<https://fht-furukawa.co.jp>

表面処理・熱処理
メッキ
熱処理
塗装

株式会社 Welding
〒940-0882
新潟県長岡市宮下町420-5
☎0258-24-6816
(窓口担当者:取締役 宮下 玲子)
Fax 0258-24-1669
✉r-miyashita@koba-gou.co.jp

<https://www.koba-gou.co.jp/>

TSK
IKEDA KIKOU

最高のデジタル板金技術で「創意無限」を実現!

株式会社 池田機工
〒954-0076
新潟県見附市新幸町10-9
☎0258-66-0678
(窓口担当者:副社長 池田 真理子)
Fax 0258-66-0679
✉ikeda.m@ikeda-kikou.jp

<http://www.ikeda-kikou.jp>

ITOKI

設計から製造までの一貫生産体制で
「働く環境」づくりをサポートします

イトーキマルイ工業 株式会社
〒954-0124
新潟県長岡市中之島901-1
☎0258-66-3211
(窓口担当者:代表取締役社長 藤原 和典)
Fax 0258-66-3900
✉fujiwara9bu5@itoki.jp

<https://www.mriind.co.jp>

SAKATA
サカタ製作所

これまでの長い経験で培った、
塩害・風害の自然環境に強い製品が得意です

株式会社 サカタ製作所
〒940-2403
新潟県長岡市板町本与板45番地
☎0258-41-5266
(窓口担当者:取締役 樋山 明智)
Fax 0258-72-0062
✉hiyama-t@sakata-s.co.jp

<http://www.sakata-s.co.jp>

メフキ

硬さ1200HV超えのめっき処理を実現
さまざまなめっき対応が可能

株式会社 小西鍍金
〒940-2022
新潟県長岡市鉄工町2-1-20
☎0258-27-1746
(窓口担当者:代表取締役 小西 統之)
Fax 0258-27-4736
✉mkjr@mug.biglobe.ne.jp

<http://www.konishi-mekki.jp>

株式会社 中津山熱処理
〒940-1164
新潟県長岡市南陽1-1089-10
☎0258-22-0851
(窓口担当者:代表取締役 中津山 國雄)
Fax 0258-23-1615
✉k-nakatsuyama@nakatsuyama.com

<http://www.nakatsuyama.com/>

林メッキ工業所
〒940-0024
新潟県長岡市西新町2-5-8
☎0258-32-1470
(窓口担当者:代表取締役 林 ちはる)
Fax 0258-36-4058
✉hep-jimu@dance.ocn.ne.jp

<http://www.hayashi-ep.jp/>

TAKAHASHI
TAKEI TAKAHASHI SHEET METAL

製缶板金から機械加工、塗装まで
一貫生産で対応します

株式会社 佐藤板金
〒940-0004
新潟県長岡市高見町3064
☎0258-24-6575
(窓口担当者:代表取締役 佐藤 大樹)
Fax 0258-24-6576
✉satoban@poppy.ocn.ne.jp

<http://www.satoban.ocn.ne.jp>

タカハシ

ステンレス加工ならおまかせください!

株式会社 タカハシ
〒949-4502
新潟県長岡市黒坂250
☎0258-74-3721
(窓口担当者:専務取締役 高橋 謙)
Fax 0258-74-3722
✉ken@kabu-takahashi.jp

<http://www.kabu-takahashi.jp>

TAHARA IRONWORKS CO.,LTD.

大型製缶溶接・機械加工・処理工程まで
一貫生産対応致します

株式会社 田原鉄工所
〒940-2105
新潟県長岡市宝2丁目1番地31
☎0258-24-5950
(窓口担当者:代表取締役 田原 裕巳)
Fax 0258-24-4765
✉hiromi@tahara-nagaoka.com

<http://www.tahara-nagaoka.com>

電子・電気機器
電装
電子デバイス
電子部品
メカトロニクス

KUBOSEI

FA制御システム、建設用配電盤の一貫生産メーカー

久保誠電気興業 株式会社
〒940-0871
新潟県長岡市北陽2-14-32
☎0258-24-5513
(窓口担当者:総務経理課)
Fax 0258-24-7452
✉information@kubosei.co.jp

<http://www.kubosei.co.jp>

CHEMI-CON

環境と人にやさしい技術への貢献

ケミコンデバイス 株式会社 長岡工場
〒940-2127
新潟県長岡市新産3丁目4-12
☎0258-46-2244
(窓口担当者:取締役工場長 氏家 幸)
Fax 0258-46-9535
✉m-kubota@cab-n.chemi-con.co.jp

<https://www.chemi-con.co.jp/company/hagaoka>

ナウエス精工株式会社
NOWS

0.1mmよりの精密板金加工で
単品から量産品に対応します

株式会社 トーエイ
〒940-0006
新潟県長岡市東高見1-4-3
☎0258-24-8768
(窓口担当者:代表取締役副社長 田中 祐樹)
Fax 0258-24-6134
✉tohei@nct9.ne.jp

<http://nct9.ne.jp>

NANBA

板金加工から塗装まで、
大物・小物・少量品まで一貫対応いたします

ナウエス精工 株式会社
〒940-0871
新潟県長岡市北陽1-53-32
☎0258-24-7064
(窓口担当者:代表取締役 信賀 悟士)
Fax 0258-24-6323
✉nows@cocoa.ocn.ne.jp

<http://nows-seikou.com/>

第四電設株式会社
Daiyon

ユーザー側の設計段階から製品化まで
各種オーダーに対応します

株式会社 難波製作所
〒940-2053
新潟県長岡市福道町字前田804
☎0258-27-5161
(窓口担当者:代表取締役社長 難波 博繁)
Fax 0258-29-2326
✉hiroshige@nanba-ss.co.jp

<http://www.nanba-ss.co.jp>

LED照明の企画・開発・製造メーカー

第四電設 株式会社
〒940-2141
新潟県長岡市藤橋2丁目660-1
☎0258-46-7084
(窓口担当者:商品開発開発営業部 次長 下条 聰)
Fax 0258-46-7086
✉a-shimojo@daiyon-wave.co.jp

<http://www.daiyon-wave.co.jp>

TOKUSAI
TungMoly Co., LTD.

髪の毛の1/10程度の細い金属線を作る会社です
(最少径2.5ミクロン)

株式会社 トクサイ
〒940-1164
新潟県長岡市南陽1-1027-6
☎0258-22-2171
(窓口担当者:業務部 小島 広樹)
Fax 0258-22-2180
✉kojima@tokusai.co.jp

<http://www.tokusai.co.jp/>

装置製造・組立

ユニット組立
機器・装置製造



先進的な技術で、創造する未来

株式会社 アドテックエンジニアリング

〒940-2311
新潟県長岡市三島新保397
☎0258-42-3111
FAX0258-42-3114
✉webmaster@adtec-eng.co.jp

<http://www.adtec.com/>



樹脂切削のパートナーカンパニー

株式会社 F-S・エンジニアリング

〒940-0016
新潟県長岡市宝2-1-10
☎0258-25-2292
(窓口担当者: 代表取締役 柚澤 浩明)
FAX0258-25-2294
✉fs071@fseng.co.jp

<http://www.fsec-nagaoka.jp/>



「高圧装置」及び産業・省力化機械設計製作

株式会社 シナダ

〒940-0002
新潟県長岡市十二潟町534-45
☎0258-24-2435
(窓口担当者: 代表取締役社長 小林 敬助)
FAX0258-24-4317
✉kazu2000@helen.ocn.ne.jp

<http://www.kk-shinada.jp>



ねじゲージ、各種ゲージ、測定機器、
ボールねじ製造メーカーです

株式会社 第一測範製作所

〒947-0044
新潟県小千谷市大字坪野826番地2
☎0258-84-3911
(窓口担当者: 取締役開発部長 佐藤 康夫)
FAX0258-81-2113
✉y-sato@issoku.jp

<https://issoku.jp/>



品質向上、コスト削減、納期短縮などの
最適化を提案、製造いたします

テラノ精工 株式会社

〒940-2311
新潟県長岡市三島新保420番地
☎0258-89-7339
(窓口担当者: 代表取締役 渡辺 豊)
FAX0258-89-8448
✉yutaka.w@terrano-seiko.co.jp

<http://www.terrano-seiko.co.jp/>



設計開発

鉄鋼・鋳造・ダイカスト

機械加工

機械加工

板金製缶

表面処理・熱処理

電子・電気機器

装置製造・組立

支援サービス

高等教育機関

設計開発

鉄鋼・鋳造・ダイカスト

機械加工

板金製缶

表面処理・熱処理

電子・電気機器

装置製造・組立

支援サービス

高等教育機関

装置製造・組立

ユニット組立
機器・装置製造



雪上車、エネルギー機器、環境機器の総合メーカー

株式会社 大原鉄工所

〒940-8605
新潟県長岡市城岡2-8-1
☎0258-24-2350
(窓口担当者: 代表取締役社長 大原 輝人)
FAX0258-24-8201
✉okito@oharacorp.co.jp

<http://www.oharacorp.co.jp/>



作業の流れをコンベヤで改善

小川コンベヤ 株式会社

〒940-1138
新潟県長岡市滝谷町2006
☎0258-22-2211
FAX0258-22-0014
✉matsubara@obishi.co.jp

<http://www.ogacon.co.jp>



精度を必要とする機械設備の
設計から組立の一括製作

株式会社 永島工機

〒940-0012
新潟県長岡市下々条3-3
☎0258-24-3636
(窓口担当者: 代表取締役社長 永島 智之)
FAX0258-24-6916
✉t-nagashima@nagashima-kouki.com

<https://n-rsk.jp/>



精密な水準が、未来の基準

新潟理研測範 株式会社

〒949-7503
新潟県長岡市川口中山700-41
☎0258-89-4141
(窓口担当者: 代表取締役 内藤 豊)
FAX0258-89-4300
✉yutaka@n-rsk.jp

<https://n-rsk.jp/>



ニーズに沿った機械を設計から組立まで一貫製造

株式会社 藤谷製作所

〒954-0111
新潟県見附市今町6-25-22
☎0258-66-1188
(窓口担当者: 常務取締役 藤谷 元弘)
FAX0258-61-2222
✉contact@fujiyamachine.co.jp

<https://www.fujiyamachine.co.jp>



設計開発

鉄鋼・鋳造・ダイカスト

機械加工

板金製缶

表面処理・熱処理

電子・電気機器

装置製造・組立

支援サービス

高等教育機関

SCIENCE

究極の精密加工を実現する

株式会社 科学計器研究所

〒940-0006
新潟県長岡市東高見1丁目2-20
☎0258-24-0646
(窓口担当者: 代表取締役 川口 秀和)
FAX0258-24-5681
✉science.s@kagakuiki.co.jp

<https://kagakuiki.co.jp/>



技術を磨き社会の進歩に貢献する

北川グレストック 株式会社 長岡研究所

〒940-1164
新潟県長岡市南陽2丁目951番地6
☎0258-22-1322
(窓口担当者: 企画室主任 星野 真央)
FAX0258-22-0185
✉planning.n@kitagawagt.co.jp



温度コントロールを要素技術に用いた
フィルム業界・液晶業界装置メーカー

クリーン・テクノロジー 株式会社

〒940-0006
新潟県長岡市東高見1-4-4
☎0258-24-5350
(窓口担当者: 代表取締役社長 西澤 和夫)
FAX0258-22-5460
✉ct.soumu@cleantechnology.co.jp



ウェットブラスト技術で
お客様の表面処理に関する問題を解決

マコー 株式会社

〒940-2032
新潟県長岡市石動町宇金輪525
☎0258-47-1729
(窓口担当者: 取締役 土田 真伯)
FAX0258-21-4124
✉m_tsuchida@macoho.co.jp



貴社だけの1台を実現する
精密円筒研削盤のブランドメーカー

株式会社 丸栄機械製作所

宮内工場/〒940-1163
新潟県長岡市石動町宇金輪525
☎0258-22-1480
(窓口担当者: 代表取締役 岡部 恒夫)
FAX0258-22-0012
✉t-okabe@maruei-kikai.co.jp



プリント配線板用超硬ドリルのトップメーカー

ユニオンツール 株式会社 長岡工場

〒940-1104
新潟県長岡市損田屋町字外川2706-6
☎0258-22-2620
(窓口担当者: 長岡総務人事課長 小野 順平)
FAX0258-22-0045
✉onoj@uniontool.co.jp



設計開発

鉄鋼・鋳造・ダイカスト

機械加工

板金製缶

表面処理・熱処理

電子・電気機器

装置製造・組立

支援サービス

高等教育機関

精密研磨ナノレベルを実現する
世界唯一のテープ研磨専業メーカー

株式会社 サンシン

〒940-1163
新潟県長岡市平島1-11
☎0258-22-1529
(窓口担当者: 代表取締役 細貝 晃司)
FAX0258-23-2164
✉sales@kksanshin.co.jp

<https://kksanshin.co.jp/>



機械設計から組立まで一貫して行い、
また、技術者派遣もしています

JPC 株式会社

〒940-2023
新潟県長岡市蓮潟町字五郎作428番地15
☎0258-89-7577
(窓口担当者: 代表取締役社長 吉原 誠)
FAX0258-89-7578
✉m-yoshihara@jpc.co.jp



世界トップクラスの技術を誇る異物検査機メーカー

高等教育機関

大学
高等専門学校



産業界や自治体と一緒に、
産業界や社会が抱える課題解決に貢献します

長岡技術科学大学

〒940-2188
新潟県長岡市上富岡町1603-1
☎0258-47-9278
(窓口担当者: 産学連携・研究推進課 研究支援係)
FAX0258-47-9040
✉sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

<https://www.nagaokaut.ac.jp/>



地域企業と協働で地域産業の発展に資する
イノベーション人材を育成します
「AI, IoT, Robotics(AIR) Technologyの地域への展開」

長岡工業高等専門学校

〒940-8532
新潟県長岡市長岡市西片貝町888
☎0258-34-9312
(窓口担当者: 総務課 地域連携係)
FAX0258-34-9327
✉chilki@nagaoka-ct.ac.jp
<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>



地域と協働し、地域を創る

長岡造形大学 地域協創センター

〒940-2088
新潟県長岡市千秋4-197
☎0258-21-3321
(窓口担当者: 地域協創課)
FAX0258-21-3362
✉chiiki@nagaoka-id.ac.jp

<https://www.nagaoka-id.ac.jp/>



<https://www.nagaokauniv.ac.jp/>



おかげさまでNAZEは20周年 20年の絆を力に、次の時代へ



令和7年8月27日 NAZE合同部会(長岡グランドホテル)にて

設計・開発

鉄鋼・鋳造・ダイカスト

機械加工

板金・製缶

表面処理・熱処理

電子・電気機器

装置製造・組立

支援サービス

高等教育機関

インフォメーション

Website

- 長岡の優れた技術を持つ
- 会員企業のデータベースや活動の紹介など
- NAZEについて
- 事業紹介
- 会員企業検索
- 広報誌ライブラリー
- 会員企業ガイド
- NAZEスタイル

NAZEを知るなら、まずはここから!
入会やモノづくりに関するご相談なども
こちらからお問い合わせください。

<https://na-ze.jp/>

#会員企業・団体

広報誌ライブラリー

NAZE Channel

YouTube

NAZE WORLD

「NAZE CHANNEL」では、
5種類の「コンテンツ」を発信しています。
NAZEの会員企業の優れた技術を
ぜひご覧ください。



www.youtube.com/@naze8145

物作り企業が本気で
鍛技術「スイットル」が凄すぎる!!
ハンドスピナー作ってみた

www.youtube.com/@NazeNagaoka

MY PLACE NAGAOKA
Nagaoka Activation Zone of Energy

皆さんの地域にある
ちょっとした会社さんの技術の素晴らしさや
奥深い製造業の魅力を世界に向けて
優しく創造的に発信しています。

「NAZE WORLD」では、
日本有数のモノづくりのまち長岡から、
奥深い製造業の魅力を世界に向けて
優しく創造的に発信しています。

皆さん地域にある
ちょっとした会社さんの技術の素晴らしさや
奥深い製造業の魅力を世界に向けて
優しく創造的に発信しています。